

平成 26 年度防災関連事業計画について（ハード事業）

1. 治水対策事業

■雨水ポンプ場整備事業 予算額 1,639,000千円

平成 27 年度の供用開始を目指し、芳野ポンプ場の整備を行う。

芳野ポンプ場：流入渠、沈砂池及びポンプ棟の整備並びにポンプ設備、機械設備及び電気設備の製作

区分	排水量	エンジン	電動ポンプ
計画排水量	Q=9.09 m ³ /S	φ 1200 mm×3 台	φ 400 mm×2 台
第 1 期事業	Q=6.22 m ³ /S	φ 1200 mm×2 台	φ 400 mm×2 台

■雨水ポンプ場改築事業 予算額 92,843千円

ポンプ場の耐震化に向けた事業を行う。

堀江ポンプ場：更新及び耐震補強工事 事業費 18,343千円
豊田川ポンプ場：実施設計 事業費 74,500千円

■幹線管渠整備事業 予算額 228,000千円

区分	計画延長	25 年度末	26 年度	27 年度以降
二ツ杵排水区	□1.6m×1.6m ほか L=約 590m	L=450m	L=140m	
下之郷第三排水区	□0.8m~φ 1.35m L=約 655m	L=120m	L=130m	L=405m

■雨水貯留施設設置事業 予算額 9,000千円

新川流域水害対策計画（47計画・河川分）により雨水貯留施設を全体で「19,200 m³」実施するにあたり、小場塚排水区の上新公園に雨水貯留施設工事のための詳細設計を行う。

【47計画・河川分の実績】

計画量 ①	実施済み ②	未整備量 ①-②	進捗率 ②/①
19,200 m ³	14,130 m ³	5,070 m ³	73.59%

区分	地区	形態	容量
し尿処理場施設内調整池	新川	オープン調整池	5,085 m ³
清洲インターチェンジ部調整池	清洲	オープン調整池	4,127 m ³
中沼 101号	春日	地下貯留	940 m ³
名高速高架下調整池	西枇杷島	地下貯留	835 m ³
助七公園貯留地	新川	地下貯留	293 m ³
夢の森保育園	春日	オープン調整池	200 m ³
ネギヤ保育園	春日	オープン調整池	150 m ³
清洲城広場	清洲	地下貯留	2,500 m ³

2. 公共施設の耐震化事業

■新川小橋整備費 予算額 72,700千円

新川小橋（車道橋 1 橋、歩道橋 2 橋）について、耐震補強及び補修工事を行う。

【施設概要】 所在地/須ヶ口 延長/72.9m
構造/コンクリート橋 架設年度/昭和 38 年

【改修内容】

橋梁改修工事

- ・耐震補強工 落橋防止（PC ケーブル） 支障補強（沓座拡幅、支承防錆）
- ・補修工 舗装、防護柵修繕

3. 避難所関連事業

■屋内運動場非構造部材耐震化事業 予算額 350,700千円

避難施設でもある市内小中学校の屋内運動場の、天井や照明器具などの非構造部材の耐震化を進めるため、施設の改修工事を行う。

小学校 古城小学校・清洲東小学校・新川小学校・星の宮小学校
中学校 新川中学校・春日中学校

■校舎構造体耐久性調査業務 予算額 12,865千円

築年数の古い校舎の構造体耐久性調査を行う。

小学校 西枇杷島小学校・清洲小学校・新川小学校
中学校 西枇杷島中学校・清洲中学校・新川中学校

平成 26 年度防災関連事業計画について（ソフト事業）

1. 自主防災組織強化事業

■自主防災活動支援費 予算額 8,844千円

自主防災会のブロック化を推進し組織力を強化するため、自主防災会への支援を実施する。

(1)防災資機材購入補助（ハード事業）

資機材購入費用×4/5、補助限度額 40 万円

(2)自主防災組織活性化事業（ソフト事業）

地域ハザードマップ作成等費用×10/10、補助限度額 10 万円

(3)消火器等の購入補助

新設・老朽化による買換え等の費用×10/10、全額補助

2. 防災訓練

■総合防災訓練（9月6日） 予算額 1,075千円

会場 庄内川水防センター周辺

訓練内容 被害状況収集訓練、倒壊家屋救出訓練、救護所設置訓練、給水訓練、炊き出し訓練等

参加機関 広域消防署、市消防団、防災協力会、自衛隊、赤十字奉仕団、自主防災会等、

■自主防災訓練

安心して暮らせる事業 200円×世帯数

3. 地域防災リーダー養成講座

■委託料	予算額	216千円
災害の被害を最小限に食い止め、地域防災力を向上させるため、地域防災リーダーとして養成する。地域の自主防災活動を通じて、防災・減災対策活動（危険箇所の把握等）を行っていただき、特に災害時には、避難所の運営に率先して携わっていただく人材を養成することを目的とする。		
開催日時	第1回 平成26年4月27日（日）午前9時～正午	
内容	講義及びグループワーク	
	講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏	
開催日時	第2回 平成26年5月11日（日）午前9時30分～11時30分	
内容	講演会（防災講演会を兼ねる）	
	講師 名古屋工業大学 教授 前田 健一 氏	
開催日時	第3回 平成26年7月13日（日）午前9時～正午	
内容	講義及びグループワーク（避難所運営訓練〔HUG〕）	
	講師 レスキューストックヤード 浦野 愛 氏	
会場	清洲市民センター	
参加人員	43名	

4. 避難所配備用タブレット購入事業

■通信運搬費・備品購入費	予算額	2,434千円
避難所における情報収集を行うため、タブレット型端末を23台配備する。		

5. 耐震診断・耐震改修事業

■耐震改修促進計画策定費	予算額	6,646千円
清須市耐震改修促進計画は、平成20年度に策定されており、計画期間は平成20年度から平成27年度までの8年間となっているが、社会情勢の変化や計画の実施状況に適切に対応するため、概ね3年を目安として定期的に検証を行い、必要に応じて施策の見直しなど計画の修正を行うこととなっている。今回、平成25年5月に耐震改修促進法が改正されたことで、特定建築物の耐震診断等が義務化され、特定建築物を確定させる必要があるため、新たに計画を策定する。		

■民間木造住宅耐震診断費	予算額	2,250千円
地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の無料耐震診断を実施する。		
計画戸数	48戸	
診断内容	現地調査、一般的補強アドバイスと改修工事を行うときの目安となる工事費の説明	

■民間木造住宅耐震改修費	予算額	15,000千円
地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された旧基準民間木造住宅の耐震化を支援する。		
計画戸数	15戸	
補助対象	判定値が1.0未満⇒1.0以上となる耐震改修工事等	
補助金	100万円（身体障害者手帳の1・2級又は療育手帳のA種の方が世帯にいる場合は130万円）	

■民間非木造住宅耐震診断補助金	予算額	1,400千円
地震による家屋の倒壊等の被害を軽減するため、昭和56年5月31日以前に着工された戸建て、併用住宅、共同住宅の非木造住宅耐震診断を支援する。		

- 一戸建て住宅
 - 補助対象経費 耐震診断に要する経費
 - 補助金交付額 対象経費の2/3以内（限度額8万6千円）
- 戸建て以外の住宅
 - 補助対象経費 ①耐震診断に要する経費
 - ②延べ面積に応じて算出した額（詳細※印）
 - 補助金交付額 対象経費の2/3以内（限度額120万円/棟）
 - ※1,000㎡以内⇒×2,000円 1,000㎡超～2,000㎡以内⇒×1,500円 2,000㎡超⇒1,000円

■住宅耐震改修相談会	予算額	48千円
愛知建築士会会員を相談員として、耐震改修に関する相談会を開催する。		
日時	10月10日（金）午前10時～午後5時	
会場	市役所本庁舎相談室	

■耐震シェルター・防災ベッド購入補助	予算額	1,500千円
木造住宅の1階に安全な空間を確保するために設置する、耐震シェルター・防災ベッドの設置費用を補助する。		
○耐震シェルター	・・補助限度額30万円×3件	
○防災ベッド	・・補助限度額30万円×2件	
※補助対象等の詳細は、愛知県の補助要綱等を参考とする		

6. 備蓄物資の整備

■備蓄食料購入費	予算額	2,160千円
○アルファ米	・・1,000食	
○クラッカー	・・6,000食	
○粉ミルク	・・480回分	

7. 危機管理体制強化事業

■危機管理体制強化事業	予算額	4,630千円
危機管理や災害応急対応のスペシャリストである自衛隊OBを、引き続き雇用する。		
○勤務体制	週4日（31時間）	
○主な業務	災害発生時・・災害対策本部の運営（自衛隊関係機関との連絡調整業務）	
	危機管理・・危機管理体制の見直し〔地域防災計画、BCP（業務継続計画）〕	
	災害対処・・自主防災組織活性化業務（自主防災訓練指導など）	

8. 東日本大震災被災自治体の支援

福島県広野町への職員派遣を継続〔3年目・1年間〕	
宮城県東松島市への職員派遣（新規事業・1年間）	